

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	音楽アーティスト科 (ヴォーカルコース)	夜・通信	1338 単位時間	160 単位時間	
	音楽アーティスト科 (ギターコース)	夜・通信	1424 単位時間	160 単位時間	
	音楽アーティスト科 (ベースコース)	夜・通信	1424 単位時間	160 単位時間	
	音楽アーティスト科 (ドラムスコース)	夜・通信	1424 単位時間	160 単位時間	
	音楽アーティスト科 (キーボードコース)	夜・通信	1424 単位時間	160 単位時間	
	ダンス科	夜・通信	1424 単位時間	160 単位時間	
	K-POP エンタテインメント科 (K-POP ダンス&ヴォーカルコース)	夜・通信	1146 単位時間	160 単位時間	
	K-POP エンタテインメント科 (K-POP ビジネスコース)	夜・通信	1144 単位時間	160 単位時間	
	K-POP エンタテインメント科 (オンライン K-POP ビジネスコース)	夜・通信	272 単位時間	160 単位時間	
	音楽ビジネス科 (コンサート・ライブスタッフコース)	夜・通信	1214 単位時間	160 単位時間	
	音楽ビジネス科 (芸能マネージャーコース)	夜・通信	1214 単位時間	160 単位時間	
	映像デザイン科	夜・通信	1352 単位時間	160 単位時間	
	音響・照明科 (PA 音響エンジニアコース)	夜・通信	1424 単位時間	160 単位時間	
音響・照明科 (照明エンジニアコース)	夜・通信	1424 単位時間	160 単位時間		

サウンドクリエイター科 (レコーディングコース)	夜・通信	1460 単位時間	160 単位時間	
サウンドクリエイター科 (作曲・編曲コース)	夜・通信	1388 単位時間	160 単位時間	
サウンドクリエイター科 (オンライン作曲・編曲コース)	夜・通信	1388 単位時間	160 単位時間	
研究科 (デビュー・プロ活動コース)	夜・通信	864 単位時間	80 単位時間	
研究科 (インストラクターコース)	夜・通信	826 単位時間	80 単位時間	
研究科 (就職・資格取得コース)	夜・通信	670 単位時間	80 単位時間	
総合エンタテイメント・大学科 (音楽アーティストコース)	夜・通信	2268 単位時間	320 単位時間	
総合エンタテイメント・大学科 (ダンスコース)	夜・通信	2354 単位時間	320 単位時間	
総合エンタテイメント・大学科 (K-POP ダンス&ヴォーカルコース)	夜・通信	2076 単位時間	320 単位時間	
総合エンタテイメント・大学科 (映像デザインコース)	夜・通信	2282 単位時間	320 単位時間	
総合エンタテイメント・大学科 (作曲・編曲コース)	夜・通信	2318 単位時間	320 単位時間	
総合エンタテイメント科 (音楽アーティストコース)	夜・通信	1803 単位時間	240 単位時間	
総合エンタテイメント科 (ダンスコース)	夜・通信	1889 単位時間	240 単位時間	
総合エンタテイメント科 (K-POP ダンス&ヴォーカルコース)	夜・通信	1611 単位時間	240 単位時間	
総合エンタテイメント科 (映像デザインコース)	夜・通信	1817 単位時間	240 単位時間	
総合エンタテイメント科 (作曲・編曲コース)	夜・通信	1853 単位時間	240 単位時間	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校 HP 「情報公開」にて公表

<https://show-net.jp/information.php>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校 HP「情報公開」にて公表 https://show-net.jp/information.php
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2023年6月 1日～2027 年5月31日	政策的観点
非常勤	団体職員	2023年6月 1日～2027 年5月31日	教育統括的視点
非常勤	弁護士	2023年6月 1日～2027 年5月31日	法的観点
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>「全学生のプロデビュー・プロ活動・専門職就職を実現する」を理念とし、音楽、ダンス、エンタテインメント分野の専門学校として、「知識」「技術」の習得や、国際的にも優れた才能を発揮できる人材育成を目指す。そのために実務経験を持った教員による講義・演習・実習を重視した教育を行う。</p> <p>【授業計画(シラバス)の作成過程】</p> <p>学校主催の全講師会にて、学校の運営理念、教育方針の共有を行い、その後学科ごとに科別の個別会を実施。学校が育成すべく人物像の共有を行う。シラバス作成においては、学校所定のシラバス表に記入する。</p> <p>【授業計画(シラバス)の作成・公表時期】</p> <p>毎年3月末までにシラバスを作成している。 公表時期については毎年4月1日を予定。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学校 HP「情報公開」にて公表</p> <p>https://show-net.jp/information.php</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

成績評価については下記の通り定めている。(学生の手引き P13 記載)

●成績評価

①成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断する。

②評価方法

a. 成績は S (秀)、A (優)、B (良)、C (可)、D (可)、E (不可) の 6 段階で評価する。

b. E 評価の科目は追試験を受験しなければならない。

c. 出席率 80%未滿の科目は E 評価となり、追試験を受験し合格しなければならない。

d. 毎日行われる朝礼や HR の時間も、社会人として規律・ルールを守る人間力教育のため、授業内指導の一環とする。したがって、欠課・欠席の時間は成績・出席率に反映される。

③成績表

成績表は各学期末に作成し、保護者宛に郵送する。

3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

指標の算出方法は以下の通りである。

S(秀) = 5、A(優) = 4、B(良) = 3、C(可) = 2、D(可) = 1 とし、科目数で割ることにより評定平均を算出する。また、数値ポイントは小数点第三位を四捨五入し、小数点第二位まで求めることとする。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

学校 HP「情報公開」にて公表
<https://show-net.jp/information.php>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定方針(ディプロマポリシー)については、学校の教育理念である「全学生のプロデビュー・プロ活動・専門職就職を実現する」のもと、音楽、ダンス、エンタテインメント分野の「知識」「技術」の習得、また、国際的にも優れた才能を発揮できる人間性を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するものとする。

また、卒業の認定基準については下記条件を満たす者を卒業認定とする。
詳細は学生の手引き P20 に記載。

●卒業認定条件

- 1、年次の授業全体の出席率 85%以上
- 2、成績評価が全て D 以上
- 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得
 - 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回 (2 枚)
(就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる)
 - 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得
- 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入

●卒業認定手順

卒業認定方針のもと、上記 1～4 を満たす者は卒業を認定し、学位を授与する。
いずれかの条件に満たない場合は、追試験・認定試験・補講・卒業進級判定会議を行い、条件を満たすことで卒業を認定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学校 HP「情報公開」学生の手引き P4 以降 にて公表
<https://show-net.jp/information.php>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://show-net.jp/information.php
収支計算書又は損益計算書	https://show-net.jp/information.php
財産目録	https://show-net.jp/information.php
事業報告書	https://show-net.jp/information.php
監事による監査報告（書）	https://show-net.jp/information.php

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	音楽アーティスト科 (ヴォーカルコース)	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1742 単位時間/単位	438 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1113 単位時間/単位	0 単位時間/単位	191 単位時間/単位
			1742 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		20人	0人	1人	9人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 専門性の高いヴォーカリストを音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画（シラバス）の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <p>卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。詳細は学生の手引き P20 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率 85%以上 2、成績評価が全て D 以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率 85%以上 2、成績評価が全て D 以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回 (2 枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる) 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>■クラス担任制 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>長期欠席者への指導等の対応</p> <p>補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項)			
2023 年度開講のため卒業生 0 名			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

17人	1人	5.9%
(中途退学の主な理由) 学校の雰囲気合わないため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	音楽アーティスト科 (ギターコース)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1742 単位時間/単位	420 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1322 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1742 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		6人	0人	1人	7人	8人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高いアーティストを音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P20 に記載。
●進級認定条件
1、年次の授業全体の出席率85%以上
2、成績評価が全てD以上
3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
●卒業認定条件

1、年次の授業全体の出席率 85%以上 2、成績評価が全て D 以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回（2 枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる） 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等
（概要） ■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 （ %）	0 人 （ %）	0 人 （ %）	0 人 （ %）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
（備考）（任意記載事項） 2023 年度開講のため卒業生 0 名			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
----	-----	-----	-----	-------

文化・教養		文化・教養専門課程	音楽アーティスト科 (ベースコース)	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1742 単位時間/単位	420 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1402 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1806 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	1人	0人	1人	7人	8人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高いアーティストを音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P20 に記載。
●進級認定条件
1、年次の授業全体の出席率85%以上
2、成績評価が全てD以上
3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
●卒業認定条件
1、年次の授業全体の出席率85%以上
2、成績評価が全てD以上
3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得
3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回(2枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる)
3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得
4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等

(概要) ■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)

(主な就職、業界等)

(就職指導内容)
担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等

(主な学修成果（資格・検定等）)
ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等

(備考) (任意記載事項)
2023 年度開講のため卒業生 0 名

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%

(中途退学の主な理由)

(中退防止・中退者支援のための取組)
教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	音楽アーティスト科 (ドラムスコース)	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1742 単位時間/単位	420 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	1322 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1742 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	2人	0人	1人	7人	8人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
<p>（概要） 専門性の高いアーティストを音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。</p>			
成績評価の基準・方法			
<p>（概要） 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画（シラバス）の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。</p>			
卒業・進級の認定基準			
<p>（概要） 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P20 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回（2枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる） 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 			
学修支援等			
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 <p>長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出</p>			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項) 2023 年度開講のため卒業生 0 名			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	音楽アーティスト科 (キーボードコース)	○	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1742 単位時間/単位	420 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1322 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1742 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	1人	0人	1人	7人	8人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高いアーティストを音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法

<p>(概要)</p> <p>成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。</p> <p>成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P20 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回(2枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる) 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>■クラス担任制 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>長期欠席者への指導等の対応</p> <p>補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、			

面接指導 等
(主な学修成果(資格・検定等)) ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等
(備考) (任意記載事項) 2023 年度開講のため卒業生 0 名

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ダンス科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 1742 単位時間/単位	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2 年			420 単位時間/単位	0 単位時間/単位	906 単位時間/単位	0 単位時間/単位	416 単位時間/単位
			1742 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		11 人	0 人	1 人	5 人	6 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高いダンサーを音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4 月～6 月基礎、6 月下旬～7 月実習、9 月～11 月基礎・応用、12 月～2 月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績は S(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の 6 段階で評価する。また試験等の

結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率 80%未満の科目も E(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P20 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率 85%以上 2、成績評価が全て D 以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率 85%以上 2、成績評価が全て D 以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回 (2 枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる) 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>■クラス担任制 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>長期欠席者への指導等の対応</p> <p>補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13 人 (100%)	1 人 (7.7%)	8 人 (61.5%)	4 人 (30.8%)
(主な就職、業界等) ダンススクール、音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 認定ダンス指導員、ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	K-POP エンタテインメント科 (K-POP ダンス&ヴォーカルコース)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1742 単位時間/単位	528 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	838 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	376 単位時間 /単位
			1742 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
65人		30人	0人	2人	13人	15人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高いアーティストを音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <p>卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。詳細は学生の手引き P20 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率 85%以上 2、成績評価が全て D 以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率 85%以上 2、成績評価が全て D 以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回 (2 枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる) 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
--

<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>■クラス担任制 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>長期欠席者への指導等の対応</p> <p>補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16 人 (100%)	2 人 (12.5%)	5 人 (31.2%)	9 人 (56.2%)
(主な就職、業界等)			
ダンススクール、音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界、一般企業			
(就職指導内容)			
担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
韓国語能力検定、ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	K-POP エンタテインメント科 (K-POP ビジネスコース)	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1742 単位時間/単位	870 単位時間/単位	0 単位時間/単位	872 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1742 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
65人		13人	1人	2人	13人	15人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P20 に記載。
●進級認定条件 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上

<p>3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</p> <p>●卒業認定条件</p> <p>1、年次の授業全体の出席率 85%以上</p> <p>2、成績評価が全て D 以上</p> <p>3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得</p> <p>3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回（2 枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる）</p> <p>3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得</p> <p>4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>■クラス担任制 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>長期欠席者への指導等の対応</p> <p>補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13 人 (100%)	2 人 (15.4%)	9 人 (69.2%)	2 人 (15.4%)
（主な就職、業界等） 音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界、一般企業			
（就職指導内容） 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 韓国語能力検定、Illustrator 検定、Photoshop 検定、ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	K-POP エンタテインメント科 (オンライン K-POP ビジネスコース)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1735 単位時間/単位	1735 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1735 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
65人	0人	0人	2人	13人	15人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による講義・実習の授業が中心となっている。4月～12月基礎・応用、1月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P20 に記載。
●進級認定条件
1、年次の授業全体の出席率85%以上
2、成績評価が全てD以上
3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
●卒業認定条件
1、年次の授業全体の出席率85%以上
2、成績評価が全てD以上
3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得
3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回(2枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる)
3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の

取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等 (概要) ■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (%)	1人 (33.3%)	2人 (66.6%)
(主な就職、業界等) 音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界、一般企業			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 韓国語能力検定、Illustrator 検定、Photoshop 検定、ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	音楽ビジネス科 (コンサート・ライブスタッフコース)	○	-
修業	昼夜	全課程の修了に必要な総	開設している授業の種類	

年限		授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1742 単位時間/単位	675 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	1067 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1742 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	23人	0人	1人	6人	7人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画（シラバス）の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P20 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回（2枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる） 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>■クラス担任制 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p>

長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (%)	11人 (91.7%)	1人 (8.3%)
（主な就職、業界等） 音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界、一般企業			
（就職指導内容） 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） Illustrator 検定、Photoshop 検定、簿記検定、ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	音楽ビジネス科 (芸能マネージャーコース)	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 1742 単位時間/単位	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年			675 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1067 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1742 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	

20人	6人	0人	1人	6人	7人
-----	----	----	----	----	----

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）					
<p>（概要） 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。</p>					
成績評価の基準・方法					
<p>（概要） 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画（シラバス）の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。</p>					
卒業・進級の認定基準					
<p>（概要） 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P20 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回（2枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる） 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 					
学修支援等					
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 <p>長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出</p>					

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数	その他

		(自営業を含む。)	
4人 (100%)	1人 (25%)	1人 (25%)	2人 (50%)
(主な就職、業界等) 音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界、一般企業			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) Illustrator 検定、Photoshop 検定、簿記検定、ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	映像デザイン科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1742 単位時間/単位	420 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1322 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1742 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		6人	0人	1人	3人	4人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P20 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回(2枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる) 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	1人 (%)	2人 (66.6%)	1人 (33.3%)
(主な就職、業界等) 音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界、一般企業			

(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等
(主な学修成果(資格・検定等)) Illustrator 検定、Photoshop 検定、簿記検定、ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	音響・照明科 (PA音響エンジニアコース)	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1742 単位時間/単位	508 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1234 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1742 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		19人	0人	1人	6人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の

結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率 80%未満の科目も E(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P20 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率 85%以上 2、成績評価が全て D 以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率 85%以上 2、成績評価が全て D 以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回 (2 枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる) 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>■クラス担任制 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>長期欠席者への指導等の対応</p> <p>補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10 人 (100%)	0 人 (0%)	10 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
音響・照明会社、音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界、一般企業			
(就職指導内容)			
担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
舞台・テレビジョン照明技術者 2 級、舞台調整技能士、ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	音響・照明科 (照明エンジニアコース)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1742 単位時間/単位	508 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1234 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1742 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留學生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		10人	0人	1人	6人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <p>卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。詳細は学生の手引き P20 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率 85%以上 2、成績評価が全て D 以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率 85%以上 2、成績評価が全て D 以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回 (2 枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる) 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>■クラス担任制 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>長期欠席者への指導等の対応</p> <p>補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4 人 (100%)	人 (%)	3 人 (75%)	1 人 (25%)
(主な就職、業界等)			
音響・照明会社、音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界、一般企業			
(就職指導内容)			
担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
舞台・テレビジョン照明技術者 2 級、舞台調整技能士、ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	サウンドクリエイター科 (レコーディングコース)	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 1814 単位時間/単位	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年			454 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1360 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1814 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		10人	0人	1人	9人	10人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P20 に記載。
●進級認定条件 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上

<p>3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</p> <p>●卒業認定条件</p> <p>1、年次の授業全体の出席率 85%以上</p> <p>2、成績評価が全て D 以上</p> <p>3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得</p> <p>3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回（2 枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる）</p> <p>3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得</p> <p>4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>■クラス担任制 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>長期欠席者への指導等の対応</p> <p>補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3 人 (100%)	2 人 (66.7%)	0 人 (60%)	1 人 (33.3%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>レコーディングスタジオ、音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界、一般企業</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>サウンドレコーディング技術認定試験、Pro Tools 技術認定試験、ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8 人	0 人	0%
<p>（中途退学の主な理由）</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	サウンドクリエイター科 (作曲・編曲コース)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 1742 単位時間/単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1742 単位時間/単位	560 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	1148 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1742 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留學生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		22人	0人	1人	9人	10人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。詳細は学生の手引き P20 に記載。
●進級認定条件 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
●卒業認定条件 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回(2枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる)

3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等
(概要) ■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	1人 (9.1%)	7人 (63.6%)	3人 (27.3%)
(主な就職、業界等) 作家事務所、レコーディングスタジオ、音楽プロダクション、一般企業			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果（資格・検定等）) MIDI 検定、ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	1人	4.5%
(中途退学の主な理由) 病気のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	サウンドクリエイター科 (オンライン作曲・編曲コース)	○	-

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1742 単位時間/単位	560 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1148 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1742 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	2人	0人	1人	9人	10人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。詳細は学生の手引き P20 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回（2枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる） 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等

(概要) ■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果（資格・検定等）) MIDI 検定、ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項) 2023 年度卒業生 0 名			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	研究科 (デビュー・プロ活動コース)	-	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	898 単位時間/単位	85 単位時間/単位	0 単位時間/単位	547 単位時間/単位	0 単位時間/単位	266 単位時間/単位
			898 単位時間/単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
10人	7人	0人	1人	5人	6人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画（シラバス）の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P20 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回（2枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる） 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 <p>長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	2人 (20%)	4人 (40%)	4人 (40%)
(主な就職、業界等) 音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界、一般企業			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	研究科 (インストラクターコース)	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	898 単位時間/単位	85 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	585 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	228 単位時間 /単位
			898 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10人	3人	0人	1人	5人	6人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

<p>(概要)</p> <p>専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。詳細は学生の手引き P20 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回(2枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる) 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>■クラス担任制 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1人 (100%)	1人 (100%)	人 (%)	人 (%)

(主な就職、業界等)
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等
(主な学修成果(資格・検定等)) ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	研究科 (就職・資格取得コース)	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 923 単位時間/単位	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
1年			304 単位時間/単位	0 単位時間/単位	619 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
		923 単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		3人	0人	1人	5人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。

成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準 (概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。詳細は学生の手引きP20に記載。
<p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回(2枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる) 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等 (概要) <p>■クラス担任制 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>長期欠席者への指導等の対応</p> <p>補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	1人 (33.3%)	0人 (%)	2人 (66.7%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	総合エンタテインメント・ 大学科 (音楽アーティストコース)	—	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 3400 単位時間/単位	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3400 単位時間/単位	1268 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	2132 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			3400 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留學生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
5人		2人	0人	1人	9人	10人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P20 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率 85%以上 2、成績評価が全て D 以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率 85%以上 2、成績評価が全て D 以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回 (2 枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる) 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>■クラス担任制 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>長期欠席者への指導等の対応</p> <p>補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項) 2024 年度開講のため卒業生 0 名			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	総合エンタテインメント・ 大学科 (ダンスコース)	—	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3400 単位時間/単位	1250 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	1734 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	416 単位時間 /単位
			3400 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留學生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
5人		1人	0人	1人	5人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P20 に記載。
●進級認定条件 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上

<p>3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</p> <p>●卒業認定条件</p> <p>1、年次の授業全体の出席率 85%以上</p> <p>2、成績評価が全て D 以上</p> <p>3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得</p> <p>3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回（2 枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる）</p> <p>3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得</p> <p>4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>■クラス担任制 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>長期欠席者への指導等の対応</p> <p>補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
（備考）（任意記載事項） 2024 年度開講のため卒業生 0 名			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	総合エンタテインメント・ 大学科 (K-POP ダンス&ヴォーカルコース)	—	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 3400 単位時間/単位	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3400 単位時間/単位	1426 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	1666 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	308 単位時間 /単位
			3400 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留學生 生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
5人		0人	0人	1人	6人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P20 に記載。
●進級認定条件 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
●卒業認定条件 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回(2枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる)

3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等 (概要) ■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果（資格・検定等）) ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考)（任意記載事項） 2024 年度開講のため卒業生 0 名			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	総合エンタテインメント・ 大学科 (映像デザインコース)	—	○
修業	昼夜	全課程の修了に必要な総	開設している授業の種類	

年限		授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3400 単位時間/単位	1250 単位時間/単位	0 単位時間/単位	2150 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			3400 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
5人	0人	0人	1人	3人	4人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画（シラバス）の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。詳細は学生の手引き P20 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回（2枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる） 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等

(概要) ■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果（資格・検定等）) ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項) 2024 年度開講のため卒業生 0 名			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	総合エンタテインメント・大学科 (作曲・編曲コース)	—	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 3400 単位時間／単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼間		1390 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	2010 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			3400 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
5人	2人	0人	1人	9人	10人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画（シラバス）の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P20 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回（2枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる） 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 <p>長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項) 2024年度開講のため卒業生0名			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	総合エンタテインメント科 (音楽アーティストコース)	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2571 単位時間/単位	853 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1718 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
		2571 単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
5人	1人	0人	1人	9人	10人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

<p>(概要)</p> <p>専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。詳細は学生の手引き P20 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回(2枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる) 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

(主な就職、業界等)
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等
(主な学修成果(資格・検定等)) ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等
(備考) (任意記載事項) 2024 年度開講のため卒業生 0 名

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	総合エンタテイメント科 (ダンスコース)	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 2571 単位時間/単位	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
3 年			835 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	1320 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	416 単位時間 /単位
			2571 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留學生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
5 人		1 人	0 人	1 人	5 人	6 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4 月～6 月基礎、6 月下旬～7 月実習、9 月～11 月基礎・応用、12 月～2 月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。

成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準 (概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。詳細は学生の手引きP20に記載。
<p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回(2枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる) 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等 (概要) <p>■クラス担任制 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>長期欠席者への指導等の対応</p> <p>補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			

(備考) (任意記載事項)
2024 年度開講のため卒業生 0 名

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	総合エンタテインメント科 (K-POP ダンス&ヴォーカルコース)	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	2571 単位時間/単位	1011 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1252 単位時間/単位	0 単位時間/単位	308 単位時間/単位
			2571 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
5 人		2 人	0 人	1 人	6 人	7 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4 月～6 月基礎、6 月下旬～7 月実習、9 月～11 月基礎・応用、12 月～2 月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績は S(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の 6 段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率 80%未満の科目も E(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P20 に記載。</p> <p>●進級認定条件 1、年次の授業全体の出席率 85%以上 2、成績評価が全て D 以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</p> <p>●卒業認定条件 1、年次の授業全体の出席率 85%以上 2、成績評価が全て D 以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回 (2 枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる) 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</p>
学修支援等
<p>(概要) ■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項) 2024 年度開講のため卒業生 0 名			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	総合エンタテインメント科 (映像デザインコース)	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
3年		2571 単位時間/単位	835 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1736 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			2571 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留學生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
5人		0人	0人	1人	3人	4人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P20 に記載。
●進級認定条件 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上

<p>3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</p> <p>●卒業認定条件</p> <p>1、年次の授業全体の出席率 85%以上</p> <p>2、成績評価が全て D 以上</p> <p>3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得</p> <p>3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回（2 枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる）</p> <p>3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得</p> <p>4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>■クラス担任制 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>長期欠席者への指導等の対応</p> <p>補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 （%）	人 （%）	人 （%）	人 （%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
（備考）（任意記載事項） 2024 年度開講のため卒業生 0 名			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		文化・教養専門課程	総合エンタテインメント科 (作曲・編曲コース)		○	-	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2571 単位時間/単位	975 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	1596 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2571 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学 生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
5人		0人	0人	1人	9人	10人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P20 に記載。
●進級認定条件
1、年次の授業全体の出席率85%以上
2、成績評価が全てD以上
3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
●卒業認定条件
1、年次の授業全体の出席率85%以上
2、成績評価が全てD以上
3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得
3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回(2枚)

<p>(就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる)</p> <p>3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得</p> <p>4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>■クラス担任制 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>長期欠席者への指導等の対応</p> <p>補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項) 2024 年度開講のため卒業生 0 名			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意 記載事項)
音楽アーティスト科	90,000 円	710,000 円	530,000 円	
ダンス科	90,000 円	710,000 円	530,000 円	
音楽ビジネス科	90,000 円	610,000 円	490,000 円	
映像デザイン科	90,000 円	610,000 円	490,000 円	
音響・照明科	90,000 円	610,000 円	490,000 円	
研究科	90,000 円	710,000 円	530,000 円	
研究科(内部進学)	0 円	330,000 円	65,000 円	
K-POP エンタテイメント科 K-POP ダンス&ヴォーカルコース	90,000 円	710,000 円	530,000 円	
K-POP エンタテイメント科 K-POP ビジネスコース	90,000 円	610,000 円	490,000 円	
K-POP エンタテイメント科 オンライン K-POP ビジネスコース	90,000 円	730,000 円	370,000 円	
サウンドクリエイター科 レコーディングコース 作曲・編曲コース	90,000 円	610,000 円	490,000 円	
サウンドクリエイター科 オンライン作曲・編曲コース	90,000 円	730,000 円	370,000 円	
総合エンタテイメント・大学科	90,000 円	610,000 円	490,000 円	
総合エンタテイメント科	90,000 円	610,000 円	490,000 円	
修学支援(任意記載事項)				
NSG 無利子奨学金制度 NSG 母子家庭・父子家庭奨学金制度				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校 HP「情報公開」にて公表 https://show-net.jp/information.php		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 評価委員会メンバーは音楽プロダクション事業やライブハウス事業を手掛ける「柳都アーティストファーム」をはじめ新潟県内の音楽系企業の役員、音楽業界で活躍している本校卒業生により5名で構成される。 評価の内容については、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生募集状況、財務状況、法令等遵守、社会貢献・地域貢献について評価をし、次年度の学校運営の改善につなげていく。 評価結果を踏まえた改善策については教務部長を責任者として、翌年度の学校運営に活用していく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別

株式会社 柳都アーティストファーム	令和6年4月1日～令和8年3月31日	企業代表取締役
株式会社 柳都アーティストファーム	令和6年4月1日～令和8年3月31日	企業役員
株式会社 エヌトライブ	令和6年4月1日～令和8年3月31日	企業代表取締役
合同会社 UNITY	令和6年4月1日～令和8年3月31日	代表
作曲家(フリーランス)	令和6年4月1日～令和8年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校 HP「情報公開」にて公表 https://show-net.jp/information.php		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://show-net.jp/
--